

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成23年1月13日

施設名	高知県立坂本龍馬記念館	所管課	文化・国際課
-----	-------------	-----	--------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人高知県文化財団	指定期間	平成21年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日
施設所在地	高知市浦戸城山		
事業内容	坂本龍馬を顕彰する施設として、坂本龍馬に関する資料の収集、保管、及び展示を行う。		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p><建物>延べ床面積: 1,841.62㎡ SRC造 一部鉄骨地上2階地下2階 <主要施設> 常設展示室、企画展示室、図書・ビデオコーナー、ミュージアムショップ、談話室など <開館時間> 午前9時～午後5時 <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> 入館料 大人(18才以上)400円 ※高校生以下、高知県長寿手帳所持者(65歳以上)は無料 企画展開催時は別料金</p>		
職員体制	特別職非常勤: 1人 常勤職員: 4人 契約職員: 11人 合計: 16人		

※職員数は平成22年4月1日現在

2 収支の状況

単位: 千円

		平成20年度(決算)	平成21年度(決算)	平成22年度(予算)
収入	県支出金	52,710	40,988	42,118
	事業収入	52,994	104,236	61,160
	その他	53	5,100	5,428
	収入計	105,757	150,324	108,706
支出	事業費	17,138	20,172	28,800
	管理運営費	78,400	88,813	79,199
	(うち人件費)	(45,709)	(46,790)	(48,053)
	その他	8,829	1,121	707
	支出計	104,367	110,106	108,706

3 利用状況

	平成20年度(実績)	平成21年度(実績)	前年度比
①年間利用者数(単位:人)	134,596 人	246,994 人	112,398 人増加
	<p><利用実績> 平成21年度は、年間を通じて4つの企画展を開催したほか、平成23年度の開館20周年記念事業に向け3年連続企画の第1弾「風になった龍馬」展Vol. 1)を実施した。 利用者数は、龍馬ブームの追い風を受け、前年度比較で、112,398人増加した。 特に、NHK大河ドラマ龍馬伝の放送が開始した1月以降3月末までで、前年度比較で3.66倍の大幅な伸びで推移した。</p>		

4-1 平成21年度業務評価(指定時の県の要求水準に対する項目による)

項 目	評価	事業評価委員会意見
①指定管理期間における要求水準1 「龍馬への入口」から一歩進んだ「龍馬の中核施設」へ」	B	・龍馬学会・龍馬検定の拡大を図っている。 ・まだ「入口」だと思う。
龍馬と関連分野に関する調査研究を進め、その成果である専門性の裏付けのもとに、龍馬に関する新しい発見が常にできる展示を行う	B	・スペースが小さいので屋外活用も考えて欲しい。
	B	
	B	・学芸員と研究時間の確保を望む。
龍馬に関する専門施設として、「龍馬のことなら何でも分かる」との評価を定着させる	B	
	B	・ギャラリートークは、日時を決め事前に情報発信をして充実させる。
	B	
	C	・カルチャーサポーターの育成と増員を望む。
龍馬に関する情報を全国に発信する	A	
	B	
教育普及活動を充実し、県民、特に次世代を担う子どもたちに龍馬について正しく理解してもらう	A	
	B	
	B	・教育普及担当職員の増員が必要。

②指定管理期間における要求水準2 「龍馬を求める人々の思いに応える」		A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の来客サービスが徹底している。 ・観光施設なのか博物館なのか明確化が求められているのではないか。 ・見やすい展示ができるよう県の手当てを望む。
龍馬の生きた時代と龍馬の熱い生き様に触れ、来館者に勇気や元気を与える記念館とする		A	<ul style="list-style-type: none"> ・龍馬の手紙を読む朗読・コンサートは斬新で成功している。 ・事前のPR等準備を行い更なる成果を上げることが望む。
龍馬の生き方に心寄せる人々が、人生の節目節目に訪れたいと思える記念館とする	土佐の気風や幕末維新の息吹が感じられる展示や解説を心がける	A	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い館内で最大限の努力をしている。
	来館者が龍馬に宛てて手紙を書く「拝啓龍馬殿」など、来館者の思いをくみ上げる取組を継続して行い、その結果を広報する	A	
「龍馬像」「龍馬の見た海」「坂本龍馬記念館」という舞台装置を最大限生かして、記念館及び桂浜の魅力を高める		A	
上記の要求水準以外の取組		B	<ul style="list-style-type: none"> ・「龍馬伝」を教材若しくは展示映像として活用できないか検討のこと。
③指定管理期間における要求水準3「観光地にある立地条件を生かし、来館者の増加に努める」		A	<ul style="list-style-type: none"> ・努力を評価する。
魅力ある記念館の運営を行うことで5年を通じて年間13万人以上の入館者を目指す	桂浜やその他観光施設への入込者と来館者との相関関係や、月ごと、日ごとの入館者数など、観光客の動向を分析し、タイムリーな企画展を計画する	B	
	県内からの来館者の割合及びニーズを把握し、増加のための戦略を立てる	B	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者が急増しすぎて対応に苦慮しているが、「龍馬伝」放送後のこと考えれば、今のうちに戦略を考えておく必要がある。
	観光事業者や旅行代理店、行政機関などと連携・協力して必要な対策をとる	B	
県外から多くの観光客が来館するという特性を生かして、龍馬を通じた高知県のイメージアップに貢献する	専門性のほか、高知らしさを感じていただく運営に努める	B	
	ホスピタリティや美観の維持の面でのサービス水準を設定し、来館者に心から来て良かったという高い満足度を感じていただくため、アンケート調査などにより、その水準を把握する	A	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの分析ができています。 ・トイレ改修は評価できる。
上記の要求水準以外の取組		B	

4-2 平成21年度業務評価(効率的な運営、サービスの向上、施設、設備の管理に関する評価)

経営努力 収入増加の取組 経費削減の取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展等数々の努力で入館者が急増している。 ・限られた資源(人員・資料・環境)で高い成果を上げている。
サービス向上への取組 自己点検・評価の状況 事故、クレームへの対応 職員の専門性の向上 研修の実施状況 その他サービス向上の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性をさらに高めるため学芸員を望む。 ・学芸員が調査、研究できる時間の確保が必要。
社会的責任 法令等の遵守 個人情報、情報公開の状況	B	
建物や設備の管理 点検・修繕の実績 業務委託の状況	B	
危機管理 風水害、火災、地震、盗難等危機管理 対策 マニュアルの作成 職員研修	B	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の十分なメンテナンスの充実が求められる。 ・地震の際の誘導訓練も今後必要。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・龍馬伝の恩恵を受けて成果を出している。 ・平成21年度、県内で最も元気のある施設。 ・集客面では県内施設のリーダー的存在である。 ・来館者の期待に応える、より充実した展示内容やサービスであってほしい。 ・収蔵庫の充実を要望する。 ・一層幅広い教育普及を期待する。

【評価の目安】

- A: 仕様書(要求水準)の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書(要求水準)の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書(要求水準)の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの